

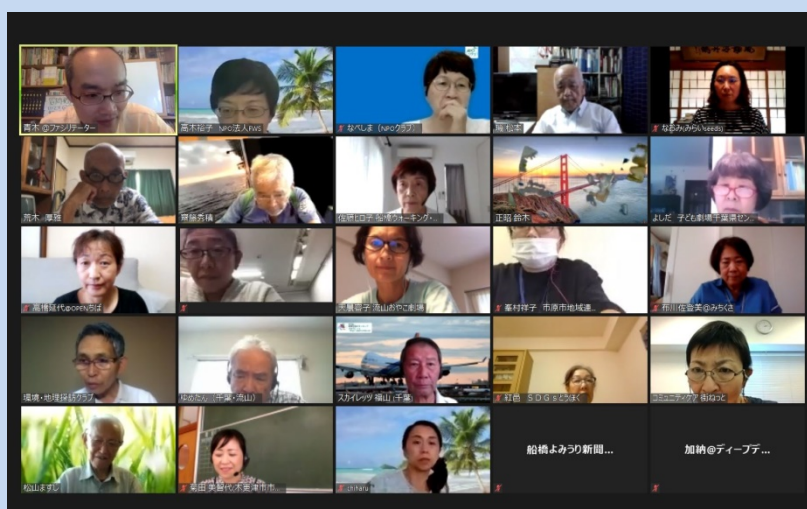
－NPOの団体運営力を高め、社会的役割と位置づけを得るために－

令和 2 年度

千葉県市民活動団体マネジメント事業 実施報告書

With コロナの中、今年度は全講座オンライン(Zoom)で開催

こんな時だからこそ、改めて団体のミッション(活動目的)を再確認し、活動形態の見直しなどを進め、活動の継続・拡充をはかりませんか。



【内容】

- オンライン会議を体験してみよう
- 「With コロナ」での活動を考える『ちえのわ』①
- オンライン会議のファシリテーション
- 寄付募集チラシづくりのこつ
- NPO 法人の日常会計処理&事業報告書作成講座
- NPO 法人の労務講座
- 「With コロナ」での活動を考える『ちえのわ』②

主催:千葉県

企画・運営:認定特定非営利活動法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

報告書編集・発行:認定特定非営利活動法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ(NPOクラブ)
〒261-0011 千葉市美浜区真砂 5-21-12 TEL043-303-1688 FAX 043-303-1689
E-mail npo-club@par.odn.ne.jp 発行部数 200部 2021年3月

〈セミナー〉2020年9月7日（月）開催報告

〈1部〉初心者も安心 オンライン会議を体験してみよう！

〈2部〉「Withコロナ」での活動を考える 『ちえのわ』
情報交換・課題共有し次のステップへ！

受講者 25 名

講師 青木 将幸さん

1部では、Zoomの基本的な機能の説明とあわせて、Zoomミーティングに参加したメンバーが心地良く意見交換できるような設定、配慮の仕方について、学び合いました。講座の最初はチャットに自分の好きな食べものを書き込むアイスブレイキングから。Zoomでもリアルのミーティングと同様に、参加者の緊張をほぐすことが大事ですね。

〈Zoomミーティングを円滑に進めるポイント〉

- ① いちばん理解のペースが遅い人にあわせて進める
- ② リアルの会議よりも、あいづち、了解のポーズを大きく伝える
- ③ 「チャット機能」などを活用することで、参加しやすい環境づくりをする



2部では、布川 佐登美さん（NPO法人ケアラーネットみちくさ代表）から、「ケアラーズ&コミュニティカフェから『見守り弁当』配達へ」をテーマに、加納 基成さん（NPO法人ディープデモクラシー・センター副代表）から「新型コロナの影響で仕事や住まいをなくした人たちの支援を続ける」というテーマでお話いただいた後、意見交換。コロナ禍でも大事にしたいことを共有しました。

布川さんのお話から

母の介護体験から、介護者＝ケアラーは孤立しがちであることを実感→孤立防止で実家を改装し7年前にカフェを始めました。コロナ禍前は、月曜～木曜にオープンしている「カフェみちくさ亭」には、1日あたり25人ほどの人たちがいらして下さっていました。コロナの影響で3月から6月はカフェを中止し、「見守り機能をつけたお弁当」の宅配にシフトしました。7月は、カフェにいらした方が81名、お弁当は以前の約3倍にあたる351人の方に配達しました。宅配事業を継続、拡充するため助成金を得て配達用の車両も購入、今後もニーズに応えていきます。

加納さんのお話から

長期路上生活者に医療を提供したり、生活再建支援を行ってきました。17年ぶりに自分の部屋を借りたという人もいます。ひとりひとりの状況にあわせて、食や住まいの提供、就労、免許、戸籍などの回復のための支援を行います。「野宿になるときは段々だけど、もどるときは一段になってる！」と言われます。コロナ禍で、段々の幅が狭くなっていると感じます。シェルターを増設しましたが、ほぼ一杯の状況です。段々を落ちないようにすること、落ちてしまった人が戻れるような地域社会であればと思います。

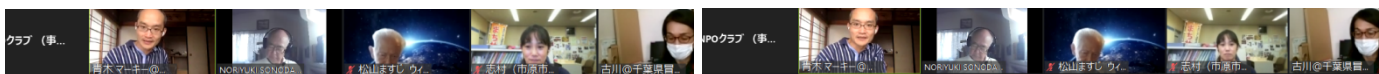
受講者の声

- ・ 少人数のグループに分けてのディスカッションができることがわかった。また、さまざまな地域づくりの活動をしている方々の意見や思いを聞いて今後の自分の活動の参考になった。

受講者 26 名

講師 青木 将幸さん

オンラインのミーティングでも、参加する皆が安心して、気持ちよく発言できる場をつくるには？ 活発に意見が出て、質の高い意見交換を可能にするには？といったテーマで、Zoomが初めての人にも丁寧にサポートいただきました。



オンライン会議のデメリット

- ・ まだ慣れてない人、多数！
- ・ 情報漏洩のリスク(録画・録音・声・ハッキング)
- ・ 空間の未整備
- ・ 接続トラブルがある
- ・ スペック、機材、能力的についていけない人続出
- ・ 同時発言しにくい。間を取る必要がある
- ・ ニュアンスをつかみにくい
- ・ 伝わってるかどうか、わかりにくい
- ・ 雑談しにくい、うちとけにくい

大事なことは何か？

- ・ オンラインもオフラインも大事なことは、同じ
- ・ ほぐす
- ・ よい問いを準備する
- ・ よくきく
- ・ よくまつ
- ・ よく話す
- ・ 相互作用で、解決してゆく
- ・ 人として、お相手を大切にする

受講者の声

- ・ 大勢での会議を行ったことがなく、投票やブレイクアウトルームを使う機会がなかったのですが、初めて体験することができてよかったです。また、字幕など知らなかった機能も知ることができました。他の参加者の方からの質問で自分も気になっていたことを聞けたり、思いつかなかったことを知ることができたのもよかったです。
- ・ オンライン会議とリアル会議の違いを主催側も参加者もよく理解して実施すること。会議でどこまで共有するか目的を明確にすること。Zoom機能の基礎が設定上でいろいろできることを学ばせていただきました。ありがとうございました。



青木 将幸さん

会議ファシリテーター。あらゆるジャンルの会議ファシリテーションを年間100回のペースで請け負ってきた。が、コロナの影響で、すっかりリアル会議の依頼はキャンセルに。2020年4月1日に「オンライン会議ファシリテーター」として出直すことを決意。すでに100回を超えるオンライン会議のファシリテーションを請け負っている。

〈セミナー〉2020年9月26日（土）開催報告

“寄付しようかな”の最後の一步を促す寄付募集チラシづくりのコツ

受講者 27 名

講師 林田全弘さん

小さなNPOを応援するグラフィックデザイナー
株式会社ガハハ・ディレクター



寄付チラシづくり 3つのステップ



手書きラフづくり

何をどのように
配置するか、
手で考える。

デザイナーは、いきなりパソコンで仕事をしない。
パソコンは仕上げ用の道具。

“寄付しようかな”の最後の一步を促すチラシ7つのチェックポイント

- ①どこで誰にどのように使うか、想定できていますか？
- ②オモテあっさりウラぎっしり
- ③他者の声を掲載していますか？
- ④寄付によって得られた成果を説明していますか？
- ⑤目安の金額は提示してありますか？
- ⑥税控除の説明はありますか？
- ⑦すぐにアクションしやすいような配慮はありますか？

受講者の声

- ・ 寄付の方法には、クレジット決済やスマホからの引き落としなどいろいろな方法があるということを知ることができました。また、その方法を丁寧に記載することが大切だということ、面倒、わかりづらさをなくして安心して指を進めてもらえるようにする工夫も大切だということが心に残りました。今後に生かせる学びとなりました。
- ・ チラシは伝えたいことを話す内容で作る！
- ・ チラシ作りについて、「整理」「発想」「表現」どれも提案されたような手順を踏まず作成していたので、なんだかスッキリしました。

寄付チラシは、

どこで誰にどのように使うか
が決まらないと、
何をどこまで載せたらいいか
決められない。

表現のコツ：話す順番でレイアウトする。

Why→How→What

Why（そもそも）

How（活動内容）

What（次に何する？）



（林田全弘さん資料から抜粋）

NPO 法人の日常会計処理 & 事業報告書作成講座

受講者 38 名

講師 加藤達郎さん (税理士)

千葉県税理士会所属。加藤達郎税理士事務所所長。



会計処理は、活動を円滑に進めるためにも団体運営の基礎。

複式簿記を学ぶことで、日常の作業がスムーズになります。

1 部で、帳簿の作成などの日常の会計処理。2 部で、活動計算書、貸借対照表、財産目録など NPO 法人の決算報告書作成について学びました。

NPO 法人の会計の原則

- ・ 会計簿は**正規の簿記の原則**に従って正しく記帳すること。(複式簿記)
- ・ 計算書類(活動計算書及び貸借対照表)、財産目録は会計基準に基づいて活動に係る事業の実績、財政状態に関する**真実な内容を明瞭**に表示したものとする。
- ・ 採用する会計処理の基準及び手続きはについて、**毎事業年度継続し**、みだりに変更しないこと。

計算書類とは活動計算書+貸借対照表

活動計算書：収益(会費、寄附、商品売上等)－費用(給料、家賃、消耗品等)＝当期正味財産増減額

- ・ 事業費と管理費の区分
 - 「事業費」定款で定めた事業のための費用、「管理費」法人の管理のために要する費用
- ・ 「人件費」と「その他経費」に分ける
- ・ 「特定非営利活動に係る事業」と「その他の事業」を区分
- ・ ボランティアによる役務の提供等の取扱い
 - 無償ボランティアの参加をえた場合、物資の提供を受けた部分の金額を合理的に算定でき、その内容を注記することができる。

貸借対照表とは一定期日の財産状態(バランスシート)

決算日においてその法人が、何をどのくらい持っているかを現している表のこと

財務諸表の注記(活動計算書や貸借対照表では表すことができない情報を表示)

- ・ 毎日の記録と確認が大切 特に現金、少しの金額でも毎日に
- ・ 納税 収益事業から所得がある場合法人税、法人住民税、法人事業税が課税。消費税も同様。
- ・ 帳簿(現金出納帳、仕訳帳、総勘定元帳、固定資産台帳、会費管理台帳、受取寄附金一覧)
他に各種議事録、規程、契約書

受講者の声

- ・ 日常やってることで、間違ってるところはなさそうなので、安心しました。
- ・ 素人ですが、会計業務を担当することになり、そもそもの会計の仕組み、考え方を知りたくて参加しました。素人にもわかりやすい言葉で解説していただき助かりました。

NPO 法人の労務講座

受講者 40 名

講師 石井敏則さん (社会保険労務士)

ボランティアベースの活動から事業性を持った活動へと変化する中で、適切な労務管理が求められています。団体の状況に沿った労務管理の仕方について学びました。

使用者・労働者とは

○NPO法人、理事長、理事は 使用者

- ・理事長や理事は使用者であって労働者ではないので、原則、労働法や労働保険の対象外。
- ・理事報酬には、最低賃金の適用もない。←理事報酬は総会や理事会で決定。

○職員は 労働者

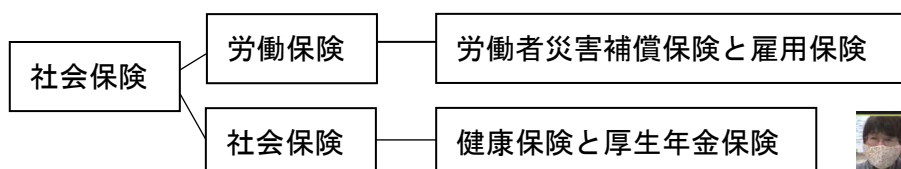
- ・労働法・労働保険の対象者。支払われる賃金は、仕事の内容や労働時間等によって決定され、最低賃金（千葉県は923円/2020年3月時点）が適用されます。
- ・雇用契約を結ぶことが必要です。
- ・理事であっても、職員と同じように働き、労働時間を管理され賃金が支払われている場合、対象時間内においては労働者として扱われます。最低賃金の支払いと雇用契約を結ぶことが必要です。

ボランティアは労働者か

- ・ボランティア活動の4原則（自主性・主体性、社会性・連帯性、無償性・無給性、創造性・開拓性）の有無に沿って判断しましょう。
- ・無償ボランティアは、原則、労働者ではありません。交通費実費、お弁当程度の支払いは可。
- ・有償ボランティアの場合、労働時間を管理され、労働時間に対して時給等が支払われるときは、原則、労働者とみなされる可能性が高いと思われます。有償ボランティアをお願いしている団体は、事故やトラブルが起こらないよう十分注意してください。

※いずれにしても、けがに対する安全保障が必要です。

労働者を雇用するNPO法人が加入しなければならない社会保険



○労災保険…労働基準監督署

対象者：すべての職員が対象（アルバイトやパートも対象）

○雇用保険…ハローワーク

対象者：1週間あたりの労働時間が20時間以上の職員

○健康保険…全国健康保険協会

対象者：理事長（報酬が出ていたら必ず加入する）、週の所定労働時間および月の所定労働日数が正職員の4分の3以上の理事および職員

○厚生年金保険…年金事務所（日本年金機構）

対象者：理事長、週の所定労働時間および月の所定労働日数が正職員の4分の3以上の理事および職員



受講者の声

- ・企業とNPOとの労務上の共通部分とそうでない部分が理解できました。
- ・使用者と労働者の定義。中でも使用人兼務役員の意味とその切り分け方について理解できたこと。

「Withコロナ」での活動を考える『ちえのわ』 情報交換・課題共有し、次のステップへ！

参加者43名

「新型コロナ」で活動の停止、縮小をせざるを得ない団体が多くなっている一方で、生活不安を抱える人が増えています。分野の異なる5団体の方に、現在の活動の状況、工夫していること、新たな気づき、課題について報告いただき、参加者間で意見交換しました。



～コロナ禍での地域のニーズと活動についての事例報告～

「子ども食堂からその先へー食と安心を届けよう」 とうかつ草の根フードバンク 高橋 亮さん

流山市 鱈ヶ崎1273 TEL 090-2733-0555 高橋さん

〈活動・事業概要〉

東葛地域6市(松戸、柏、流山、我孫子、野田、鎌ヶ谷)の子ども食堂ネットワークで設立・運営。「子ども食堂からその先へ」をテーマに子ども食堂を通して必要としている家庭に食品を提供し孤立させない活動を行う。6市限定とすることで発送コストや手間をカット。地域密着型フードバンク。

〈Withコロナでの活動・事業〉

フードパントリー等以外に個別食料支援にシフトして継続中。行政や支援団体からの緊急支援要請に基づき対象者の近くの子どもの食堂実践者が食品を届け、つながりを継続している。

2020年4月～5月:「コロナに負けるな緊急アクション 食と安心を届けよう!」

約12トンの食糧が集まり、多くの子ども食堂が「フードパントリー(食品配布会)」や「弁当配布会」を実施して2千人以上の方々にお渡しすることができた。

市(食品配布会)」や「弁当配布会」を実施して2千人以上の方々にお渡しすることができた。

〔直近の事例〕

市の担当者から「幼児を抱える母親。所持金200円でライフラインもいつ止められるか分からない。食料支援をしてくれないか」→その日のうちに倉庫から必要な食料とオムツ、粉ミルクを持って行き近隣の子どもの食堂代表につないだ。その後ご本人からのメールで「頼れる親族もおらず途方に暮れていた。家族全員の命が救われた。」

民間だからこそできることがある。公平性にとらわれない支援、迅速な対応、つながりを作り継続するそれは地域だからこそできること。

「コロナ禍における自然体験活動」 NPO法人千葉自然学校 富田 拓郎さん

千葉市中央区富士見2-3-1 塚本大千葉ビル7F TEL 043-227-7103

〈活動・事業概要〉

海や森、雪山をフィールドに、子ども対象のキャンプやスキー、野外炊飯、クラフト、レクリエーション、ハイキングなどの自然体験企画を運営している。

〈Withコロナで見えたこと〉

- ・子どもの元気を取り戻したい サマーキャンプのテーマ「みんなに広げろ!元気のWA」
- ・体験活動は不要不急ではないが、必要な体験を届けたい。

なぜ? 自然体験活動が必要か?

キーワード

1. **子ども** (将来を担う)
2. **自然** (五感をフルに使う機会に恵まれる)
3. **体験活動** (自ら、感じ考え、行動する場)
4. **宿泊** (親元離れての生活体験が大切)
5. **団体生活** (異年齢集団で活動、協調性を養う)

〈Withコロナでの活動・事業〉

ドラム缶風呂は入れるの? バスの乗車定員は? 食事の配膳方法は? レクリエーションの内容は? など対処法が手探り状態。新型コロナへの対応→全国ネットワークの力で情報共有・ガイドラインの作成・参加者の理解と協力・スタッフ教育
今まで以上の感染症対策、実施定員の削減を行い、事業を継続している。体験活動をなくさない! 継続すること! 安心安全の確保と必要性を伝え理解してもらうことを続けたい。

「ママになったその日から、一緒に子育て」 一般社団法人マザーズコンフォート 大谷 明子さん

千葉市若葉区西都賀3丁目17-11 TUGAno子ども食堂 2階 TEL 043-254-1788

〈活動・事業概要〉

- ・子育て相談：電話、訪問、来所相談
- ・居場所：「ぐ～たらな・とこ」ママの居場所の提供、ママたちの自発的な活動をサポート
- ・子育てプログラム：母支援の中で母自身のケアを行う 母乳、離乳食、栄養講座、タッチケアなど

〈Withコロナでの活動・事業〉

- ・子ども食堂とコラボパントリー：2021年1月に入り多くなっている1～2件→10件ほど
- ・おせち、年越しそば：母子たち、女の子たちに配達した。

- ・アニマルセラピー：ママや子供、女の子たちを対象に月1回開催(緊急事態宣言中は休止→2021.3月より再開)。不登校気味の子や家族環境があまり良くなく不安定になりやすい子ども、精神疾患を思いながら子育てをしているママの癒しとなっている。コロナ禍で参加者が増えている。
- ・妊娠期の支援：コロナ禍で母親学級などが中止になっており、出産退院後の育児体験をしていないため、不安が強く、かなりのフォローが必要。
- ・女の子支援：家庭での居場所がない。母との関係が悪く家にいたくない。→2021年2月に、新たに女子の居場所「パーチハウス」設立

「無料学習教室の現場から」 NPO法人ダイバーシティ工房 宮坂 奏子さん

市川市市川1-9-1 AKIOビル4階 TEL 047-711-1136

〈活動・事業概要〉

食事つき無料学習教室、コミュニティカフェ、無料LINE相談、発達障害を持った子どもへの個別学習支援、保育園、自立援助ホームなどの事業を通じて0～20歳の子どもやその家庭を支援。

「プラット学習教室」：毎週月・金曜日、中学生対象(※小学生・高校生は要相談)、学習で悩んでいるすべての子どもを対象に、学習指導、進学支援、食事の提供を行っている。利用料は無料、参加者は18名。

〈Withコロナで見たこと〉

- ・学校の休校で見た中学生の姿：「給食がなくなった…栄養バランスが崩れてつらい」「家にWi-Fiがない。長時間のオンライン授業は難しい」「塾辞めちゃった。受験生になったから料金が上がった」

- ・困窮する高校生たちの姿(定時制高校の先生から)：いつも同じ服装、お風呂に入れているのか?授業後に夜勤バイトへ。コロナでバイトが減った。

〈Withコロナでの活動・事業〉

- 2020年3月：学校が休校→学習教室を閉鎖
- 4月：オンライン授業を開始
- 5月末：教室再開、お弁当を注文し、配布。人数制限を設け、時間入れ替え制に。
- 7月：調理復活。通常通りのスケジュールに。月曜日を新たに開設、週2にして人数を分散
- 2021年1月：食事を中止に。お弁当を注文し、子どもとその兄弟分を配布。
- 2月：プラットでお弁当を作り、配布開始。高校生への食材配布…月2回駅前のコンビニで10名程度の高校生に配布。

「コロナ禍で今できることは何だろう」 NPO法人船橋ウォーキング・ソサイエティ 佐藤 ヒロ子さん

船橋市丸山1丁目50番4号 TEL 047-438-8818

〈活動・事業概要〉

定例会の実施 3会場で月7回、有資格者による指導&コーチング(2本のポールを使うウォーキング、美・姿勢ウォーキング)、体験会、親睦会、講師派遣(公民館・市民大学・UR)、指導部勉強会(指導員スキルアップ勉強会月1回)、情報発信、他団体との交流会、その他

〈Withコロナでの活動・事業〉

	定例会	オンラインエクササイズ	合計
実施期間	7/7～12/15	4/4～7/18, 12/19～2/6	
実施回数	23回	33回	56回
参加人数	431名	289名	720名

- 会員のオンラインエクササイズへの反応
- ・この声かけがなければ運動をしない
- ・生活のリズムができた
- ・一人ではいい加減になるが皆でやると良い汗をかく
- ・お互いの顔も見えて張り合いがある
- ・はやりのオンラインで嬉しい

【今できることはこれ!】

コロナフレイル・孤立化・鬱予防が課題→解決策：運動習慣の継続と人との繋がり大切。
有効な運動「ストレッチ」「筋トレ」「ウォーキング」をみんなで継続、元気にこの町で歳をとる。

〈受講者アンケートから〉

- ・コロナに負けず、「今だからこそ、この活動が…」の心意気とパワーが凄いなぁとやる気をもらいました。
- ・「できない」で終わらせず、できる工夫を実現している点が学びになった。
- ・オンラインが安定しなかったこと、参加者同志のふれあい? ができなかったことが残念。